

広報

もり 中部の森林

写真：「雪時雨」谷平久芳
(中部森林管理局「カラマツ黄葉写真コンテスト(H24)」入賞作品)

特集

- ・信越トレイル苗場山延伸記念シンポジウムの開催
- ・特集！ボランティア活動

シリーズ

- ・森林官からの便り、私の森語り、秘蔵写真・今は昔の林業、中部の保護林、お役に立ちます国有林

私の森語り「人と自然をテーマに絵本を作る」
イラストレーター／絵本作家 藤岡 牧夫



2021/No.212



林野庁中部森林管理局



しんえつ
信越トレイル苗場山
なえばさん
延伸記念シンポジウムの開催

【北信森林管理署】

九月二十五日、長野県飯山市のなべくら高原・森の家において、長年の悲願であった斑尾山から苗場山までの全長一〇キロメートルのロングトレイル運行開始を記念して「信越トレイル苗場山延伸記念シンポジウム」が開催されました。

当初は栄村において記念シンポジウム・記念トレッキングを予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、シンポジウムは、YouTube Liveでのオンライン配信となりました。

信越トレイルは、平成十七年にせきたさんみやく 関田山脈の尾根上に約五〇キロメートルのトレイルとして開通し、その後、平成二十年にあまみずやま 天山水山から苗場山まで三〇キロメートル延伸しました。

当日の記念シンポジウムには、中部森林管理局長もWEB参加しました。開催に際し、長年にわた



Web参加の中部森林管理局長 (上 練三)

る古道の整備・復元を継続し、エコツーリズムを具現化された、信越トレイルクラブをはじめ、企業・ボランティア団体、沿線の市町村等、多くの方々のご尽力に対して、深く感謝を表するとともに、信越トレイルの利用は、林野庁が取り組んでいる、山村地域の貴重な資源である森林空間を様々な手段で活用し、地域での雇用を生み出す「森林サービス産業」の創出・推進に向けた活動であると述べました。

大きな可能性を秘めた「森林サービス産業」の発展に向けて、関係者の皆さんに、引き続き、ご尽力をお願いするとともに、林野庁としても、産・学・官の様々な分野との連携のもと取り組んでまいりたい旨の祝辞を述べました。



基調講演では、国際山岳医の大城和恵氏しらかずえから、「安全登山の心得、長い道のりを歩くことの心と体の安全対策、コロナのその先にある山岳文化の創造」と題する講演が行われた。ロングトレイルハイキングに関する世界の論文・データをもとにロングトレイルハイキング中の心身におこる状態の傾向と対策等についてのお話がありました。



国際山岳医の大城先生による基調講演

また、信越トレイル新区間の概要や魅力がメッセージ映像で紹介された後に本トレイル運用の在り

方等についてお手本としてきたアメリカのアパラチアン・トレイルの関係者からのビデオメッセージがありました。



アパラチアン・トレイル本部長からのメッセージ



Webによるパネルトークの様子

パネルトークでは、信越トレイルにこれまで関わりのある整備ボランティア、ランテニア、本トレイルクラブ登録ガイド、また延伸エリアの方々の五名が登壇し、延伸された信越トレイルへの想いや期待について活発な意見交換が行われました。

本トレイルは、豊かな自然と里山の歴史や文化を体感できるコースと本格登山の準備と体力を要するコースの追加により、今後より多くの方々に魅了することでしょう。

※記念シンポジウムについては、YouTubeアーカイブ配信しておりますので、講演内容等ご興味がある方は次のアドレス、またはQRコードを読み込んでください。

<https://youtu.be/fGk1dFAKZIE?i=467>



【国有林との協定】

信越トレイルは国有林を通過することから平成十六年にNPO法人信越トレイルクラブと上越森林管理署及び北信森林管理署の三者で「関道トレイルの整備・維持活動に関する協定」を締結し、トレイルの整備や維持管理、利用などの活動が円滑に実施されるよう連携を図っています。

特集! ボランティア活動



木道を運び上げる

歩荷作業

【飛騨森林管理署】

十月二日、岐阜県^{あまう}天生国立自然

公園(天生国有林)において、名古屋林業土木協会古川支部主催により、木平湿原に設置予定の木道を運び上げる歩荷作業ボランティア活動が、協会員十五名の参加により実施されました。

木平湿原の木道は、設置されてから二十年ほど経過しており、損傷や劣化が見られることから、新しい木道の設置にむけ数年前から取り組みが行われてきました。

今回運び上げた木道は、湿原の流れにも配慮し、また、人力で運



登山道の急登を歩き荷揚げしている様子

ぶことができるよう組み立て式で設計されており、地元飛騨市河合町の大工さんが地元のヒノキ材を使用し製作しました。

木道の土台となる部材は重量一五キログラを超えますが、背負子で背負い、途中八百ほど続く心臓破りの急な登りも乗り越え、約三キロ先の木平湿原まで木道三基(二六〇キログ)を運び上げました。

今回荷揚げした木道は、後日、天生国立自然公園協議会により設置され、湿原を散策される方々が安全で快適に歩けるよう整備が進められています。



荷揚げ作業に参加されたボランティアの皆様

七百以上の歩道草刈り作業

【富山森林管理署】

十月六日、富山県上市町の早月国有林内において、名古屋林業土木協会富山支部の主催による歩道整備ボランティア活動が協会員十社から十名、当署からは六名の参加により実施されました。

当地域は剣岳をはじめとする北アルプスへの登山口やキャンプ場があり、行楽シーズンには多くの観光客が訪れることから、森林浴を楽しむ人の安全確保を目的として実施されました。およそ七百以上の歩道を鎌や草刈り機などを用いて整備しました。



歩道の草刈り作業の様子

また、通行時の障害になる可能性のある枝打ちや、滑りやすい落枝の除去も行いました。現場周辺は雨の予報でしたが、幸いにも降ることはなく、二時間ほどの作業が終わる頃には全員が汗ばむほどの充実した作業を行うことができ、昨年実施した時よりもさらに安全に整備することができました。

新型コロナウイルスの感染が収束しつつある中、秋の行楽シーズン前にボランティア活動を行えたことには大きな意味があったと思われまます。これからも安全を心がけて事業を進めてまいります。



歩道草刈り作業に参加されたボランティアの皆様

標高一、八〇〇以上の歩道修理作業

【飛騨森林管理署】

十月八日、岐阜県高山市胡桃島国有林内において、名古屋造林素材生産事業協会飛騨支部主催の木道修理等ボランティア活動が、協会員十二名の参加により実施されました。

胡桃島国有林内にはキャンプ場が開設されており、岐阜森林管理署内の濁河温泉から御嶽山への登山道に合流する登山口となっておりますが、シラベ林内には、老朽化した木道があり、この木道の修理・新設を行いました。



歩道修理作業の様子

当日は、標高一、八〇〇以上の高地での作業でしたが、晴天に恵まれ作業時には汗が出るほど暑く会員は水分を補給しながら作業を行っていました。

地形に木道の高さなどを合わせることに苦労しながら作業した結果、登山者が安全に歩行できる木道約四〇以上の新設等が完成しました。

今後も胡桃島キャンプ場からの登山道整備を引き続き行うことを確認し合い、ボランティア活動が終了しました。



歩道修理作業に参加されたボランティアの皆様



種子の採取1



植生マットを表土の上に敷いて、固定する作業



種子の採取2



種子を植生マットの隙間に撒きつけ

木曾駒ヶ岳

植生復元作業を実施

【木曾森林ふれあい推進センター】

九月二十七日、長野県宮田村の黒川国有林(木曾駒ヶ岳)で、植生復元作業を行いました。

この取り組みは、平成十七年から当センターが主体となり、登山者のオーバーユースによる踏み荒らしや、大量の降雨・融雪水、凍結融解による砂礫の移動及び強風などの原因による植生の荒廃に拍車をかけている状況を踏まえ、登山道周辺の植生復元を目的とした植生マットの敷設を行っています。

今年、新型コロナウイルスの感染防止対策の観点から県・市及び関係団体との合同作業は中止とし、南信森林管理署と当センターでの作業としました。

当日の作業は植生マットを表土の上に敷いて、それを現地の礫やペグで固定します。固定したマットの上には、周辺から採取した高山植物の種子の撒きつけを行います。

なお、高山植物の種子の採取に

あたっては、自然公園法に基づき長野県の採取許可が必要になります。

種子は、登山道周辺から目的とした植物を採し採取します。当日採取できた種子(イワツメクサなど)の種類は多くありませんでしたが、作業は予定どおり終わることができました。

作業を行った八丁坂登山道から尾根道に出た広場周辺は、木曾駒ヶ岳、宝剣岳、伊那前岳方面への分岐点となるため、多くの登山者の休憩場所となっており、行きかう登山者からは、「何をやっているんですか」、「お疲れ様です」などの多くのお声をかけていただきました。

この復元作業は、植生マットを敷設することにより、立ち入り禁止区域を視覚的に認識することができます。このことから、登山道以外への踏み込みの抑止効果があります。

また、表土を保全することにより、種子の保持なども期待もできることから、今後も継続して実施していく考えです。



地拵クラッシャーで、枝条などを処理している様子



上空からの実演会の様子



地拵え作業の実演



実演会の様子

**地拵クラッシャー
実演会の開催**

【北信森林管理署】

九月三十日、長野県信濃町^{しなのまちれいせん}霊仙寺山国^{じやま}有林において、当署及び長野森林組合の主催による「地拵クラッシャー実演会」を開催しました。

この取組は、中部森林管理局管内の国有林では初めての試みであり、林業関係団体等、十団体五十五名が参加されました。

地拵クラッシャーでの処理は、伐採後に林地に残った枝条などを筋に沿って置いていく通常の地拵とは異なり、枝条・伐根等をチップ化し、その場に散布する仕様となっております。また、林地に散布されたチップにより下層植生の成長の抑制や伐根の除去による下刈の機械化が期待されます。

当日、実演した、地拵クラッシャーの性能は、高さ四〇〜五〇センチ程の切り株を二三分で地際まで削り、さらに備え付けのグラブプル（建設機械のアタッチメントの一種で、物を掴む機能）により、

枝条をかき集めたりする様子は、凄いの一言に尽きました。また、ラジコン式草刈り機が、急傾斜のある林地を自由に動き回る様子にも驚きました。



ラジコン式下刈機の実演

実演後の質疑応答では、「散布されたチップの下層植生への抑制効果はどのくらいか」、「散布されたチップは、植付した苗木の成長に影響はないのか」、など多くの質問が飛び、高性能林業機械の導入などを検討している参加者の注目の高さを感じました。

林業の省力化は大きな課題であり、今後も高性能林業機械の改良と導入が期待されます。

名古屋林政記者クラブ
国有林視察



【名古屋事務所・愛知森林管理事務所】

十月十二日、愛知森林管理事務所（以下「愛知所」という。）管内の段戸国有林（愛知県設楽町）において、名古屋に所在する林政記者四社（林経新聞、木材工業新聞、日刊木材新聞、ウッドミック）に、国有林での取組を視察していただきました。なお、当日は愛知所管内の市町村林務担当者も参加しました。

はじめに、愛知所長から管内の概況や主な業務の説明、その後、段戸国有林の中心に位置する裏谷原生林を視察しました。

次に、市町村でも対応に苦慮しているニホンシカ対策について、造林地への侵入を防ぐ取組として、「金網シカ防護柵」、「捕獲によるシカの警戒心を利用した取組」、「ICTセンサーを活用した捕獲の取組」、「苗木を単木保護する資材の比較試験」などの取組について視察しました。



事業現場を視察する林政記者・市町村関係者

その後、明治二十六年に植栽されたヒノキ林の間伐により伐採された木材から丸太を生産する請負事業地で、受注者である新城森林組合の職員から、百二十九年生の立木の伐倒（伐り倒すこと）・造材（丸太に玉切ること）作業についての、作業手順や品質を確保するための注意点など（百年を超える丸太は「段戸S.A.N」と表示しブランド材として販売しています。）の説明を受けながら、現地作業の視察を行い国有林の取組に理解を深めていただきました。

市町村職員を交えた
無人航空機操作講習会を開催



【森林技術・支援センター】

十月二十日に岐阜県下呂市あさぎり体育館において、ドローン操作の初心者等を対象とした無人航空機活用講習会を開催し、飛騨・岐阜・東濃森林管理署の操作未経験者等五名と近隣市町村の林務担当者二名が出席しました。

ドローンの活用の際は林相や災害発生現場の確認、地形測量など、多岐にわたりますが、その使用にあたっては機器に精通した職員に偏った活用になつているとともに、操作に係る各種法令や手続き等も一部職員のみが把握している実態にあります。今後、さらに有益で効率的なドローンの活用を図る観点から、より多くのドローン操縦者の育成が急務であることから、当該講習会を実施したものです。

講習内容は無人航空機の関係法令、基礎知識、操作方法等の座学の後に、出席者が二班に分かれ、パイロンを設置した基本的な操作



ドローン操作を体験する受講者

技術や画像を確認しながらの飛行実習を体験しました。
出席した民有林担当者からは、法令や各種手続きなどと併せ、基本的な操作方法を習得でき、今後の業務に生かしていきたいといった感想が寄せられており、当センターでは、今後もこうした民有林担当職員を交えた講習会を、積極的に計画したいと考えています。



収穫調査OJTの実施

【木曽森林管理署】

九月十五日、駒ヶ岳国有林内(長野県上松町)にて、当署の若手職員等十四名に収穫調査のOJTを実施しました。



簡易測定板による調査風景

収穫調査とは、区域内の立木の蓄積状況の把握や、間伐木などを選木する調査であり、その調査技術は、日々の研鑽を積みながら個人の技量を高める必要があります。このため、本年度の収穫調査対象地(区域面積約二〇〇ha)にて、実践を通じた研修を行いました。はじめに当署次長から収穫調査に関する基本的な知識や調査方法についての講義を行いました。続いて、調査方法の一つである「ビッテルリッヒ調査法※」の原理と調査方法を学びました。



「ヒノキ・サワラの簡単な見分け方講座」の様子

研修は、この手法を元に誰でもが簡易的に調査できるよう改良した「簡易測定板」を使用して行いました。参加者は、教わったことをすぐに実践し、それぞれがこの調査方法をマスターすることができました。また、現地は見た目のよく似たヒノキとサワラが混在する林分で、葉が見えないことから、調査木の樹種の判別に戸惑う様子が多く見られたので、急遽「ヒノキ・サワラの見分け方講座」として、次長から枝の生え方、葉っぱの付き方、樹皮のめくれ方、根張りの特徴などを一つ一つ状況に合わせて判断できる見分け方のポイントの話がありました。



収穫調査業務の様子

さらに、先輩職員からは、調査木の識別をするナンバーテープや、間伐対象木であることが一目でわかるテープの巻き方、そして調査内容を記録する野帳手やちょうてに対しての確かな合図の方法など、調査を進める上で必要なことも指導されました。午後からは、学んだことを活かして、実際に収穫調査業務を行いました。

若手職員からは学んだ事を自分のものにしたといった声が聞かれました。今後は、実践の中で、技術や感覚を磨いて、自信をもって本業務に取り組んでほしいと願っています。

※「ビッテルリッヒ調査法(ビッターリッヒとも記載される)」とは、オーストリアの営林署長ビッテルリッヒ氏が一九四七年に考案した、単位面積あたりの林分材積を簡便に知る手法。

ヒノキとサワラの見分けのポイント!

○葉の裏の白い気孔群で見分けることができます。

・ヒノキは、「Y」の形



・サワラは、「X」の形



ヒノキ【檜】

Chamaecyparis obtusa
ヒノキ科 ヒノキ属

樹高は20~30m。木曽のヒノキは日本の木材の中で最も優秀なものの一つとされます。材は密で香りと光沢があり、とても堅く、腐朽にもよく耐えます。



サワラ【榧】

Chamaecyparis pisifera
ヒノキ科 ヒノキ属

樹高は30~40m。日陰に強く、沢地などでも、幹を直立させ、よく育ちます。水気に強いので、家具や建具のほか、桶の材料になります。



シリーズ

森林官からの便り

国有林の現場の最前線で、働く森林官の仕事や、管轄する地域の特徴などを紹介します。

【愛知森林管理事務所豊橋森林事務所】

森林官 平枋 潤己

豊橋森林事務所は愛知県豊橋市に所在し、都市近郊林が多いのが特徴で管轄面積は約二、三六〇鈔です。管内には溪谷が美しいことから散策や登山者で賑わう閭苧国有林、豊橋市の市街地から近いことから多くの散策者が訪れる豊橋



葦毛湿原

国有林などがあります。

豊橋国有林に隣接する「葦毛湿原」は、様々な植物群が混在しており、生物学的、植物地理学的に価値が高いことから、十月十一日国指定文化財(天然記念物)に指定されました。

また、国有林が住宅地の上部に位置するところでは、地域住民の安全・安心に資するため「ロープ



都市近郊林



ロープネット工

ネット工」等の治山事業を実施し、落石による災害の未然防止に努めています。

都市近郊林が多いこの地域では、近隣住民から国有林との境界がわからないなどの問合せが寄せられることがあり、必要に応じて目立つ色のテープなどを境界の目印として使用してわかりやすくしています。

不法投棄対策としてパトロールや注意看板の掲示を行ったり、「朝倉川530大会」への参加によるゴミの回収を行っています。国

有林の違法な利用や動植物等の荒廃を招かないよう、積極的な巡視や境界巡検などの業務をより丁寧に実行していきたいと思っています。

■未来の担い手へのメッセージ

森林事務所での仕事は森林造りばかりではなく、国有林野を正しく利用していただくことも含まれています。利用者の国有林に対する意見も多様化していて人それぞれです。様々な意見に触れて柔軟な考えを持ち、利用者に寄り添い、時には正して、利用者が気持ちよく利用できるよう誘導することも国有林の窓口として必要なことだと感じています。



事務所にて (筆者)

シリーズ

「私の森林語り」

もりかた

森林・林業との関わりの中で、様々な課題に挑戦されている方の取組を紹介します。



「人と自然をテーマに絵本を作る」



イラストレーター／絵本作家
藤岡 牧夫

■自己紹介

一九四九年長野県木曾谷生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業後、東京で活動。現在長野市在住。子ども時代を山深い木曾谷で暮らし、絵日記の好きな小学生でした。大人になり、絵を描きお話を作っていますが、絵日記の延長のような仕事をしている気持ちになります。

■活動内容

東京では、長年イラストレーターとして広告の仕事をしていましたが、カヌーイストで作家の野田知佑さんとの共著の絵本「笹舟のカヌー」で絵本の分野へ進みました。山川の自然はもちろん、海の中から宇宙までを舞台にし、人を描き入れ、空想的な絵と話を作っています。



藤岡牧夫著書の絵本

長野県緑の基金の絵本「森のくまさん」では、くまさんが子どもたちを山へ案内し、山の不思議や面白さを楽しみながら伝えていく構成になっています。現在シリーズ四作目として、北アルプス地域を取材中です。

また、「森のくまさん」はテーマソングも作られ、演奏会と朗読会も行われています。



「森のくまさん」シリーズ(右)、白馬八方での取材(左上)、万水川(安曇野市)をカヤックで取材している様子。(左下)



■メッセージ

どんな世の中が進歩して便利になっていきますが、人間にとって一番大切なものは綺麗な水と空気。

それを作るのが緑の山や海。

山の国日本。

日本を取り巻く海。

海と山を繋ぐ川。

山、川、海、空をテーマにこれからも絵を描き、お話を作っていきましょう。



○最近の活動

・二〇一九年 長谷寺(神奈川県鎌倉市) 発注「長谷寺の子ども忍者」シリーズ十作品を奉納。

・二〇二二年三月 上松町(長野県木曾郡新市舎へ絵画を納品)。

・現在、大桑村(長野県木曾郡新市舎)新市舎展示用絵画四点を制作中。

○連絡先

〒三八〇〇八〇二

長野市上松四三三八

☎〇二六二四一五〇〇三

※ホームページは、現在作成中



シリーズ

秘蔵写真

今は昔の林業

第 7 回

中部森林管理局技術普及課

井上 日呂登いのうえ ひろと

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともにご紹介します。

「造材」

伐採した木はそのままの大きさでは動かしづらいことから、枝を払ったり、一定の長さに切る「玉切り」などの造材作業が行われます。



昭和初期頃の造材風景
(現在の木曾森林管理署管内)

のこぎり
鋸を使って造材作業が行われている写真が多く残されていますが、古くは斧も使っていました。また、木材を割れにくくするために斧で端が丸められたり、運び出しやすいように樹皮が剥がされることもありました。



昭和15年頃の斧による造材風景
(現在の南信森林管理署管内)

造材される木のサイズは長さ四〜五尺とあったところが多かったのですが、これは樹種や木の状態、時代や需要によります。特に大きな木の場合、節がなるべく出ないように利用したり、市場でなるべく価値が

出るように造材するには、十分な経験が必要でした。



昭和30年代前半の造材風景
(旧長野営林局管内)

造材の風景についても、昭和三十年代に進んだチェーンソーの普及が変化をもたらしていききました。

ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。これは、カラー写真のない時代へ時を超えて！むかしの写真を紹介するサイトです。
当サイトへは、QRコードを読み込んでください。



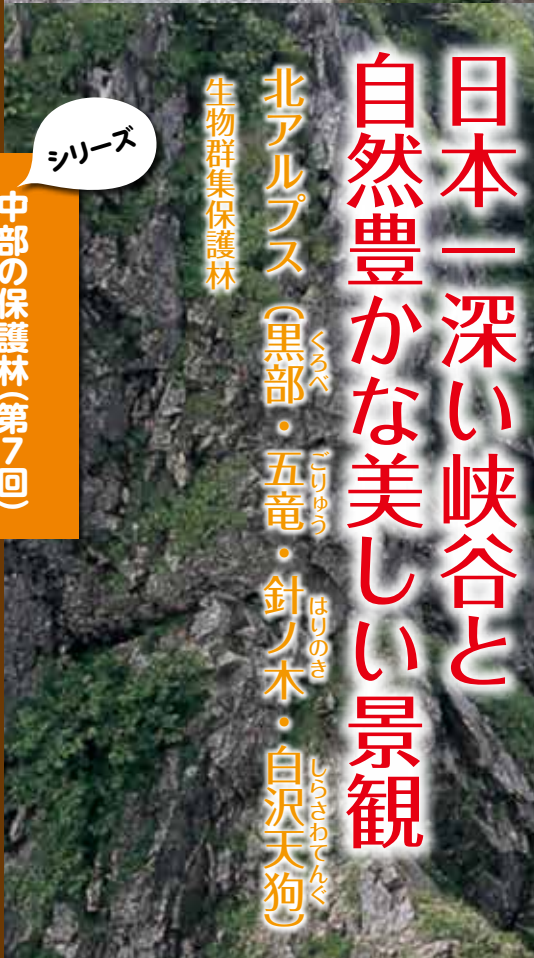


針ノ木大雪溪

所在地
富山県立山町、長野県大町市



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載しておりません。



八峰キレット



山崎園谷

日本一深い峡谷と 自然豊かな美しい景観

北アルプス (黒部・五竜・針ノ木・白沢天狗)

生物群集保護林

シリーズ

中部の保護林(第7回)

設定目的

富山県に位置する黒部峡谷は、北アルプスの長期間にわたる隆起と浸食により、立山連峰と後立山連峰の間を流れる黒部川が形成した日本一深い峡谷です。地形は急峻で岩崖が広範囲に出現しています。急斜面の岩石地に分布する植物層や、山頂付近には高山特有の草原などが広範囲に生育しています。昭和三十一年(一九五六)年九月七日に国の史跡名勝特別天然記念物に指定されています。

また、立山の山崎園谷は、その形容と堆石丘が北アルプスの中で立派なこと及び日本に氷河があった証拠として説明されたことから、発見者の山崎直方博士を記念して名付けられました。昭和二十一年(一九四五)年二月二十二日には、国の史跡名勝天然記念物に指定されています。

五竜岳から南北の双峰を持つ鹿島槍ヶ岳にかけての一带は地域のシンボルとして親しまれており、高山帯の原生的な植生と相まって、アルプス特有の特異な地形・地理を有しています。

爺ヶ岳及び針ノ木岳周辺はアルプス特有の山岳景観を呈しており、針ノ木大雪溪は特に有名で、亜高山帯から高山帯にかけて、貴重な植物が豊富に分布しています。



黒部峡谷

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、QRコードを読み込んでください。



中部森林管理局では、森林の公益的機能の発揮や林業の成長産業化に向けて様々な取組を行っています。その中から民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様に、参考にしていただけたような事例をご紹介します。



また、当局ホームページにおいてもこれらの事例を紹介しています。
詳細は、QRコードを読み込んでください。

**ついで捕獲、ついで見回り・通報
～事業体、猟友会等のご協力によるニホンジカ捕獲～**

民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様へ

お役に立ちます
国有林

1. ねらい

深刻化するニホンジカによる林業被害に対して、地域ぐるみで捕獲を進めるため、国有林内で仕事を行う事業体の皆様のご協力を得て、仕事の「ついで」に捕獲や見回りを行っていただいています。

2. 概要

国有林内で造林や治山などの仕事をしていただく事業体と地元の猟友会等の協力を得て、事業地周辺に猟友会がワナを設置し、事業体が通勤時や作業時にワナを見回り、捕獲できていたら猟友会等に通報します。なお、事業体の職員が狩猟免許を所持していれば、自らワナを設置して捕獲するといった協力をしていただくこともあります。

国有林は、捕獲許可申請、ワナの貸し出し、クマが錯誤捕獲された場合の放獣手続きと費用負担を行うほか、ご協力いただいた皆様に感謝状を贈呈させていただく場合もあります。

3. 成果

造林、生産、林道、治山等の各事業において、関係各位のご協力をいただき中、平成30年5月～令和3年3月までの3年間の実行契約件数は25件、捕獲頭数は553頭となりました。

ついで捕獲、ついで見回り・通報による実績
(平成30年5月～令和3年3月)

契約種別	実行をした契約件数	捕獲頭数	
造林関係	(0) 1	(0)	1
生産関係	(3) 10	(1)	8
林道関係	(3) 7	(22)	24
治山関係	(0) 5	(0)	515
立木販売	(2) 2	(4)	5
合計	(8) 25	(27)	553



「ついで捕獲、ついで見回り・通報」概念図

()は、ついで捕獲の内数

4. お問い合わせ先

技術普及課 電話026-236-2624



国民の森林・国有林

官係系 YouTube チャンネル



日本の農林水産業を世界へ

BUZZ MAFFとは?
農林水産省職員自身が省公式YouTubeチャンネルでYouTubeとなるなど、担当業務にとらわれずその人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力発信するプロジェクトです。

MAFF
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
農林水産省

2021年【秋】第8クールスタート!

 衣食住両正子の部屋	 ひーまゆんチャンネル
 科学系雑学アニメを手作り。毎週色とりどりの高濃度雑学情報で、脳の活性化に役立ちます!	 植物の成育の「びーまゆん」と植物防疫官たちが、びーまゆんの可愛さと植物防疫の情報をお届けします!
 宿屋のにやちゃん	 てらTOKAI
 富崎出身のびぢちゃん。富崎をはじめ九州の魅力を全力でお届けします!	 若さを武器に、東海地方の食と農の魅力を追求します!

 福Click! (ホウワジツ)	 KANTO KITCHEN	 #あひだの知らぬ東北	 たいちとみどりのお探検隊	 ぼろちっぴい
 水泳きっての戸田さん。大島が、北陸の農産・農林の魅力を、柿を渡って元氣500%でお届けします!	 NEW 関東農政局の入省1年目トリオが「おせせせせ!!」関東の「旬」をみなさんにお届けします!	 日本酒と料理に楽しむ「やまねまじん」の、何の武器もないVlog。	 NEW 農林水産省の活躍農学男子の魅力を中心に、東北の農産物から生産者まで幅広く紹介します!	 ザフさんとおだっちゃんを中心とした愉快な若手職員が、北海道の農林漁業の魅力を全力でお届けします!
 農& (のらあひだ)	 マッスル官舎	 しゅわちゃん!	 カラマツキョウジウ	 和歌山ライブ/ハラス
 旅行好きの動物好きが、動物園を飛び出し農産へ! 笑い溢れる冒険! 目指せ世界のトレンド入り!	 農林水産省の新米官舎が「農トレ」「食家」を通じて「農林水産省」の魅力を発信します!	 新人農林職員が好きなだけ語りつくすチャンネル! プレゼン企画大会開催は伊達じゃない?	 白石くんがリーダーを務める九州農政局のYouTubeチーム。ごらんあれ。	 ザフさんとおだっちゃんを中心とした愉快な若手職員が、北海道の農林漁業の魅力を全力でお届けします!
 さよふチャンネル	 職歴系系ワンエキサポートの「心」がわかるから日本向け最新を成し遂げる体験。ワンフウ	 せりやう - mari chill -	 突撃JASちゃんねる	 農業関係者太郎たまたま
 水産庁の「オールワンさん」ことGや、水産の現場や関係者から学んで成長する様子をお届けします!	 農林水産省の「TASOGARE」	 伝言官チャンネル	 NEW BUZZMAFF 運営の裏側や、各チームの紹介をしています。	 富崎出身のびぢちゃんが、富崎をはじめ九州の魅力を全力でお届けします!


「BUZZ MAFFとは?」
農林水産省職員自らが省公式YouTubeチャンネルでYouTubeとなるなど、担当業務にとらわれず、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力発信するプロジェクトです。

BUZZ MAFF (ばずまふ) に、中部森林管理局提供の動画が公開

本年六月下旬に撮影した「タケノコ採りの動画」が、林野庁広報室が担当している「もりチル」チャンネルにアップされました。

タイトル「根曲がり竹クイズ」に答えてきのこツアーをGETせよ! なぜかゆるキャラ誕生!


根曲がりの竹の採取、処理方法と料理、食レポなどクイズを交えて楽しく編集していただきました。ぜひ、ご覧になってください。



「BUZZ MAFFとは?」
農林水産省職員自らが、省公式YouTubeチャンネルでYouTubeとなるなど、担当業務にとらわれず、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力発信するプロジェクトです。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/buzzmaff/>

林野庁提供の「もりチル」のチャンネルの登録をぜひ、お願いします。



BUZZ MAFF Channelの登録&動画に「いいね」をよろしくお願いします!

<https://www.youtube.com/channel/UCk2ryX95GyVST1VC4H25g>

農林水産省 大臣官房広報評価広報室 広報企画班
【電話】03-3502-5594 (内線3072)
【メールアドレス】kouhoukikaku@maff.go.jp



今月号の表紙の写真 「雪時雨」を紹介

撮影者 谷平 久芳
たむら ひさよし

中部森林管理局「カラマツ黄葉写真コンテスト(平成24年)」入賞作品

【撮影者のコメント】
黒姫山の秋は色づいたカラマツ林が陽に輝き、高原には刈り取られたそば畑が広がる。昨夜からの雨が雪に変わりカラマツも粉砂糖をまぶしたように見える。山頂の冠雪と中腹のカラマツすそ野の紅葉とのグラデーションが鮮やかだ。零れ日がスポットライトのように山腹を照らしていただいた。

※中部局ホームページでは、ここで紹介した作品などを信州のカラマツ撮影地マップとして紹介しています。
当サイトは、次のQRコードを読み込んでください。




編集長だより

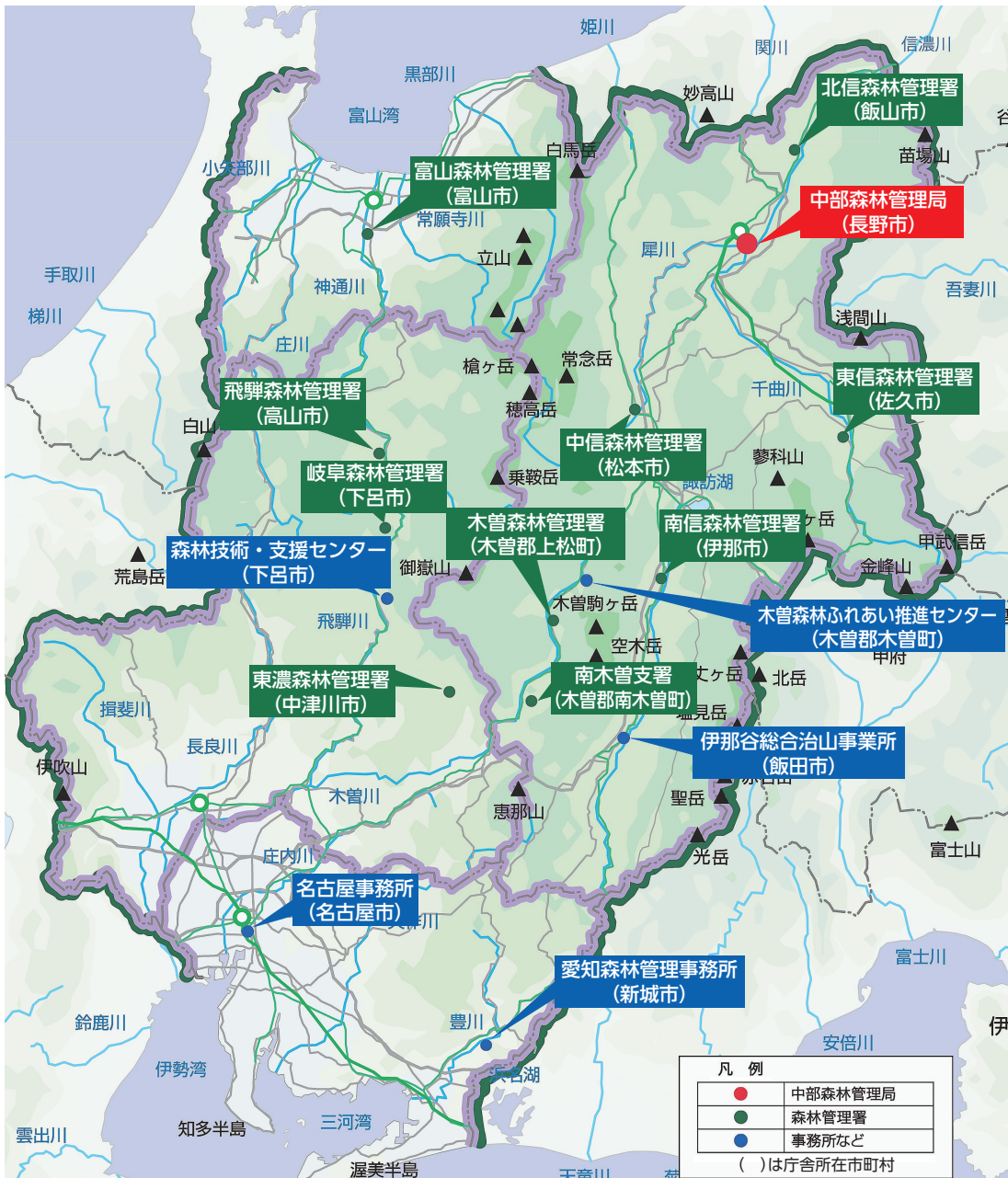
(中部の森林へのご意見・ご要望等の投稿は、migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。)

中部の山々は、白く化粧され、いよいよ冬の訪れが聞こえてきました。国有林の中には、レジャー施設として、スキー場もありますが、ゴルフ場もあります。今年は、日本人ゴルファーの活躍等により、ゴルフ人口は増えているそうです。私もマスターズ優勝した松山選手活躍を見て、練習場へ思わず足を向けました。さて、ゴルフコースへ地元の友人たちと出かけると、林野庁職員あるある?で、だいたい、林の中で! 調査作業(タマ探し)。さらに、ボールは、「アカマツの根っこ」、「シラカバの下」、「カラマツの下」とか、必ず、樹種名を添えてしまいます。木のないところで、プレーしたいのですが、職業柄?無理そうです。(*)日々精進必須。いつか、木をいじめずにプレーしたいですね。さて、雪国のゴルフシーズン同様に紅葉のシーズンも終盤に差し掛かっています。お出かけ前に、いつでもお気軽に自宅で森林や自然風景を楽しむことができる「デジ森(もり)」で、美しい風景をチェックしては、いかがでしょうか。

デジ森への入場ゲートは、左のQRコードを読み込んでください。




33. スゴ谷13 (富山署管内)



中部森林管理局のホームページ等へのアクセスは、以下のQRコードを読み込んでください。



中部森林管理局
ホームページ



広報
「中部の森林」



用語の解説
本誌文中に掲載している主な専門用語・業界用語を解説。

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中区熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曽支署	〒399-5301	長野県木曽郡南木曽町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149

発行：林野庁 中部森林管理局
編集：総務課 広報
〒380-8575 長野県長野市栗田 715-5
電話：026-236-2531
FAX：026-236-2733
<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

メールマガジンに登録いただくと、広報「中部の森林」を発行日と同時にデジタル版を毎月配信します。
(毎月10日発行※編集の都合で、発行日が遅れることもあります)
登録サイト <https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>
または、右のQRコードを読み込んでください。



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。